

# よりん彩

第54号  
2017.3



きらり輝くより  
女性消防士さん（関連ページ5ページ）

## 目次



### 特集：DV・データDVの調査研究からみる若者の意識

DV・データDVに関する実態調査より	P 2	
調査を実施して	e・らぼ／繁原 美保さん	P 3
調査結果から	鳥取県福祉相談センター所長／花川 治応さん	P 4
・きらり輝く 鳥取中部ふるさと広域連合消防局		
徳丸 瑠里さん	P 5	
平岩奈緒美さん	P 5	
山本 奈美さん	P 5	
・男女共同参画人材バンク紹介	P 6	
・相談室・情報ライブラリー	P 7	
・知る得コーナー	P 8	

鳥取県男女共同参画センターの愛称「よりん彩」とは「ちょっと寄っていってくださいな」という意味の言葉で、気軽に利用していただきたい、老若男女いろいろな色(彩)を寄せ合って男女共同参画社会づくりの輪が広がっていってほしいという願いが込められています。

# 特集 DV・デートDVの調査研究からみる若者の意識

## ～「知る」「気づく」ことが予防の第一歩～

現代社会には、ハラスメント、性暴力、DVなど、様々な“暴力”的問題があふれています。誰もが心豊かに生き生き伸び伸びと暮らせる社会の実現のために、暴力のない安心・安全に暮らせる社会づくりが重要な課題です。鳥取県が策定する第4次鳥取県男女共同参画計画においても重点目標の1つとして「男女間におけるあらゆる暴力の根絶」が取り上げられています。

近年では、交際している二人の間でもDVと同じことが起こっている「デートDV」という問題も表面化しています。鳥取県は平成22年からDV予防啓発支援員を養成し、平成23年から学生（主に高校生）を対象としたDVの予防啓発活動を行っており、5年が経過したところです。よりん彩活動支援事業・調査研究等事業を活用して、この啓発が若者にどのように届いているかについて市民団体「e・らぼ」による調査、検証が行われました。調査研究からみえる若者の意識とともに、今後のDV・デートDV予防に必要なことは何か、考えてみたいと思います。

### ～～～「DV・デートDVに関する実態調査」より～～～

回答数／208人（男性107人、女性99人、未記入2人）

年齢／平均20.4歳

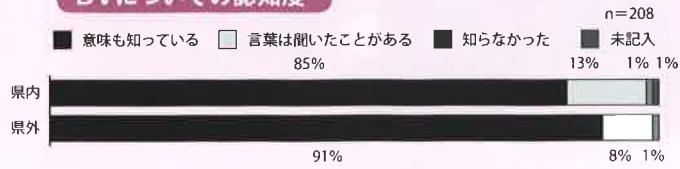
所属／県内在住の大学生122人、専門学生60人、就業者18人、未記入者8人

（鳥取県出身者112人、鳥取県外出身者92人、未記入者4人）

調査団体／e・らぼ 2016年3月まとめ

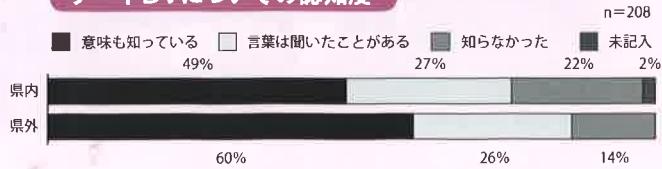
### 1 DV・デートDVの認知度

#### DVについての認知度



県内では、デートDVのことを学習している学校も増えてきてはいるものの、まだ、全体に行き届いていとは言えない。

#### デートDVについての認知度



### どんな行為が デートDVにあたるの？

### 2 デートDVの被害の経験

23人に1人



デートDVの被害が続くと心はいつも不安で、安心できない。頭やお腹が痛くなったり、いつも調子が悪くなったりするなど、体調が不調になりやすい。

#### ●身体的暴力

\*殴ったり蹴ったり、物を投げる

#### ●社会的暴力

\*家族や友人とつきあうのを制限  
\*電話やメールを細かくチェックする

#### ●性的暴力

\*嫌がっているのに性的行為を強要する  
\*避妊に協力しない  
\*見たたくないポルノビデオやポルノ雑誌をみせる  
\*裸の写真を撮る

#### ●精神的暴力

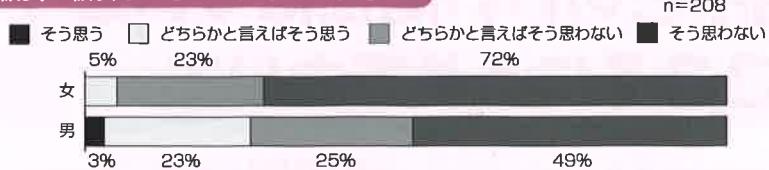
\*大声で怒鳴ったりおどしたりする  
\*何を言っても無視して口をきかない  
\*人の前でバカにしたり、命令するような口調でものを言ったりする  
\*殴るそぶりや、物をなげつけるふりをする  
\*大切にしているものをこわしたり、捨てたりする  
\*過度の嫉妬や束縛

#### ●経済的暴力

\*バイトを制限する  
\*高価なプレゼントやお金を要求する  
\*デート代をおごらせる

### 3 若者の恋愛観・価値観からみえる男女の意識の違い――

彼氏・彼女がいないのはかっこわるい



多少の暴力や強引なのは男らしさだと思う



付き合っていたら、デート代は男性が多く払うものだ



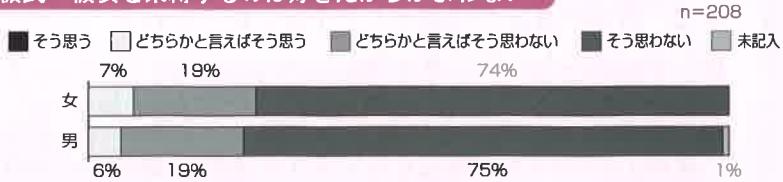
男性は外向きの強さや、かっこよさにとらわれている傾向（ジェンダー偏向）にある。男性が社会、自身の周りから“男性は〇〇であるべき”という圧力を受けていることがうかがわれる。このようなジェンダーの偏向や思い込みを解消し男女がともに対等なパートナーとして支え合う関係づくりが必要である。

男性女性ともそれぞれに「男らしさ」「女らしさ」に縛られ、その結果、暴力容認につながる傾向が見受けられる。

**どんな理由があっても暴力をふるわれていい人はいない。**

暴力防止教育、人権学習、また性教育など、くり返し学ぶことが必要である。

彼氏・彼女を束縛するのは好きだからかまわない



暴力はふるわれるほうにも問題がある



性的関係をもつたら相手は自分のものだ



女性は男性に守られたい（守るべき）ものだ



しげはら みほ

「e・らば」代表の繁原美保さんに、意識調査を実施してみての感想や思いをうかがいました。

#### ◆調査をしてみてどうでしたか？

まず、20代の方へのアンケートをお願いすることがとても大変でした。Webアンケートにも挑戦しましたが、あまり集まりませんでした。多くの知り合いにご協力いただき、回答をいただきました。ご尽力をいただいたみなさんには、まずは感謝したいと思いました。回答者の約半数は、デートDV・DVについて学んでおり、学んだ人には何らかのことが伝わっていたことがうかがわれました。できればどの子らにも社会に出るまでに、学ぶ機会を得て欲しいと思いました。現在も学習は進められており、少しずつ取り組む学校が増えています。今年度は中学校でも取り組まれ、少しずつ中学生も“デートDV”について学ぶ機会が増えてきているように感じます。私もファシリテーターとして、参加させて頂きましたが、正しい知識を早い段階で学ぶことの大切さを改めて感じているところです。

#### ◆今後に向けて何が必要ですか？

デートDV・DVを防止するためには「中学生の時に授業があったらよい」という回答が多く、若者の多くは、早く正しい知識を知っておきたいという思いを持っています。そのためには、教育に携わる教職員をはじめとする大人の理解が進むことが必要ではないかと思います。また、「性にかかる知識」「暴力防止のための知識」「人権学習」「男女とも対等で尊重した関係づくりのためのジェンダー教育」「コミュニケーション力を身につける」など、総合的に根気強く、継続的に意識して取り組んでいく必要があります。今後ともあらゆる機関、人が協力して取り組んでいくことを期待しています。

# かけがえのない相手とのいい関係について もっと知り、こころにとめておいて

DVについて学ぶ研修を実施している鳥取県福祉相談センターの花川治応所長に、調査結果から見えてきた現状と課題についてうかがいました。

## 1. 実態調査から見えてきたこと

多くの学校で「デートDV予防学習」が取り組まれています。今回の調査で、DVやデートDV(交際中のDV)について、若者に高い割合で周知されていることがわかり、予防啓発を進める立場として心強い結果でした。

しかし、DVにはいろいろな形の暴力があると“知識”としては知りながらも、実際の“意識”では、自分の身近な問題として十分に捉えられてはいないことも分かりました。

例えば、男女とも約4人に1人が「束縛するのは好きだからかまわない」と暴力の一つである「束縛」について、肯定しています。また、暴力による解決を許すことにもつながる「暴力は振るわれる方にも問題がある」の問いには、男女とも17%の人が肯定しています。

他に、実際のデートDV行為として「過剰な嫉妬や束縛」を被害として感じた者が18%あったのに対して、する側が加害行為として意識した者はわずか8%と、加害者と被害者で受け止め方にギャップがある点もみえます。

交際相手を、力や他のいろいろな方法で支配しようとする行為は、どんな理由があってもダメなのということ、相手が受けるダメージは想像以上に深いことを、身近な問題として伝えていくことが、もっともっと必要だと感じました。

## 2. 交際相手とのいい関係とは？

デートDV予防学習では「(交際相手との)いい関係の要素」について「暴力のない関係」「自分を大切にする」「相手も大切にする」ことだと伝えています。

自分を大切にすることは、「嫌なことはNOと言える。言って良い。」ことであり、相手を大切にすることは、「相手のNOを受け止める。」ことであるとも言えます。

研修会などで  
活用しませんか？！

来年度も  
調査研究等事業を  
募集します。

はなかわはるおう  
一方の意見だけが大事にされるのでなく、お互いに折り合い点を探せることが大事です。

人には、「人に好かれたい。認められたい（嫌われたくない）」と、「自分の思いどおりにしたい。好きなものを手に入れたい」という矛盾した思いが自分の中に常にあります。そのため、気づかないうまいまにどちらかの思いが強くなりすぎたり、極端に反対の態度に変わったりすることが起こります。

大切な人に好かれたいという気持ちだったはずなのに、つきあい始めると相手を自分の所有物かのように支配しようとする行為がDVです。大切な人と強く繋がりたいと願うのは当然ですが、一方的でキツすぎる絆（きずな）は、「しがらみ」となって相手を傷つけてしまうことを知って欲しいのです。

自分も相手も安心して生活するということは、お互いが「ちょっとおかしい？ 息苦しい？」ことも言い合えて、二人にとって心地いい方法を見つける話がいつでもできるようになることだと思います。そして、“おかしい”と感じた時には、誰かに相談できたり、周囲の人からも声かけできたりすることだと思います。

## 3. 今後に向けて

スマホやITの普及によって、よく知らない人とも簡単に繋がることができ、知らず知らずのうちに、DVやデートDVの当事者になってしまう社会になりました。かけがえのない相手との関係を大切にするために、DVとは何か、何故いけないかを、いろいろな角度で、できるだけ早い時期から伝えていくことがありますます必要だと感じています。

そのためには、学校などの教育機関やよりん彩、福祉相談センターなどの相談機関の他にも、相談や指導（一緒に考えること）ができる人材をさらに増やすことが課題です。

- DV・デートDVに関する実態調査結果報告書  
e・らぼ（女性と子どものエンパワメント）
- 問合せ先／男女共同参画センター よりん彩HPでも入手可能です。

3名以上の団体、グループで調査研究されませんか？  
今まで鳥取県内の児童・生徒・保護者意識調査、県内全市町村男女共同参画推進条例調査などが実施されています。いかがですか。

# きらり輝く

県内等で活躍している  
個人や団体を紹介します。

## 住民の命を守る仕事をしたい～女性消防士～

現在、鳥取県中部圏域の消防、救急等の業務を所管する鳥取中部ふるさと広域連合消防局には5人の女性消防士がいます。県内で最初に女性消防士になられた徳丸瑠里さん、倉吉消防署の救急救命士平岩奈緒美さん（入局7年目）、山本奈美さん（入局4年目）にお話をうかがいました。

### ♥消防士を志したきっかけはなんですか。

**徳丸さん**：消防士への憧れと、手に職を付け女性でも自立して生きていきたいという思いから、消防士になりました。

**平岩さん**：ニュースで見た救急救命士の資格を取りたいと思って専門学校で資格を取り、資格を活かせる職業として消防士になりました。

**山本さん**：両親が医療関係の職業だったことから、人の命を助ける仕事をしたいと思い消防士になりました。中学生の時、消防署で職場体験して女性救急救命士がいることを聞いたのも大きな動機となりました。



山本 奈美 さん

### ♥男社会と言われる消防士の世界ですが、消防士になって困ったことややりがいを感じたことは何でしょうか。

**徳丸さん**：私が消防局に入った平成17年に西倉吉消防署が新築され、個室仮眠室や女性用浴室・トイレ等が整備されました。その後、他の消防署にも個室仮眠室等が整備され、どの消防署でも女性消防士が勤務できるようになりました。

産前産後休暇や育児休業等の制度も最初は広域連合事務局の女性職員に聞いたり、倉吉市役所に聞いたりして手探りの状態でしたが、周りに理解があったので特に困りませんでした。現在1歳から8歳まで3人の男の子がいますが、家庭の事情や出産・育児期のワーク・ライフ・バランスにも配慮してもらえるようになりました。現在は現場の消防署を離れ、消防局の予防課で消防用設備の指導や建築関係の相談、検査、違反対象物への指導等の仕事をしていますが、住民の皆さん命や財産を守る仕事にやりがいを感じています。消防署に勤務していたときの火災現場の調査では、女性の方で話しやすかったと感謝されたこともあります。

**山本さん**：以前、体調不良の若い女性を救急搬送したとき、後で「女性の方で良かった。」とお礼を言われ、やりがいを感じました。

### ♥中部地震の時、倉吉消防署も被災されたそうですが、当日はどんな状況でしたか。

**平岩さん**：勤務中で、ビルの外壁が落ちてきてけがをされた方の救急搬送をしました。地震後直ちに署員が全員招集されたのですが、庁舎が地震で使えなくなり、4日間ぐらい外にテントを張り寝泊まりして活動しました。女性消防士専用のテントを設けてもらう等気を配ってもらいました。

### ♥今回の地震の経験を今後どう活かしていったら良いでしょうか。

**徳丸さん**：今回の地震による死者が出なかったのは本当に幸いだったと思います。地震の影響などを体験して住民の皆さんも、災害への備えや家族の安否確認方法をあらかじめ決めておくこと等が必要なことにあらためて気づかれたと思います。今後どのような備えをすればよいのかを考えいただきたいと思います。また、避難所生活では女性にしかわからない困りごともあり、避難生活の長期化に備えて、女性が共同して声を上げて避難生活を変えていくことも必要だと思います。

### ♥これから社会で活躍したい女性へのメッセージ

**平岩さん**：消防士は体力が無いとできない男の仕事というイメージがありますが、住民の皆さんを守りたい、住民の皆さんのお役に立ちたいという思いがあればできる仕事です。これまでに女性消防士の先輩が築いてくれた周りの理解や協力のある環境があるおかげで、訓練では男性と同じメニューをこなしています。一方、現場では人命を最優先に考え男性消防士に作業を代わってもらうこともありますが、普段から補い合って活動しています。女性にもっと消防士の仕事に興味を持ってもらい、就職の選択肢の一つにしてもらうことで、もっと消防局に入つてもらえたたらと思います。



平岩奈緒美 さん

**徳丸さん**：体力については、消防局採用時に消防学校で基礎的な訓練があるので、特別体力に自信がある方でなくても消防士を目指されて大丈夫です。男性と同じようにとまではいかないまでも、強い志があれば体力もついてきます。まず、いろいろな事に挑戦してみてください。

# 「男女共同参画人材バンク」をご紹介します。

「講演会の講師は誰がいいんだろう？ どこに頼めばいいんだろう？」、「審議会の委員はどう探せばいいんだろう？」と思われたことはありませんか？

よりん彩の「男女共同参画人材バンク」には現在、男女共同参画、男性にとっての男女共同参画、女性の活躍・就業・起業、人権一般、セクハラ・パワハラ、ワーク・ライフ・バランスなど21のテーマ毎に、現在活躍をされている方が登録をされています。

よりん彩では、登録者の中から講師や審議会委員の候補を紹介を行っていますので相談ください。

28年度に登録された方々を紹介します。



山本 光文さん（鳥取市）

登録分野 ●人間関係づくり、コミュニケーション ●子育て、教育、家族

子どもの夢や目標はさまざまです。しかし「よりよく生きる」ことを欲しない子どもは一人としていません。「よりよく生きる」意欲やそのための能力が見られないのは「無い」ではなく「邪魔するものがある」だけです。教育コーチングの役割は、その邪魔するものを取り除き、子どもの「個」としての「自立」を支援することです。さあ、皆さん一緒に教育コーチングを学びましょう。



内田 美佐さん（米子市）

登録分野 ●男女共同参画一般  
●男性にとっての男女共同参画 ●女性の活躍、就業、起業 ●人権一般  
●人間関係づくり、コミュニケーション ●ワークライフバランス  
●福祉、介護 ●健康、保健、医療

笑顔で幸せな気持ちになって頂ける講座の開催を心掛けています。アンガーマネジメント、カラーなど。職場の人間関係の向上、離職防止、メンタルヘルス、ハラスマント防止などの活用にと講座をさせて頂いています。怒りの感情と上手く付き合う事が出来ると、自分自身、家族、職場、社会、周りの人にも優しくなれ、コミュニケーションにも自信が持てます。



田中 韶さん（倉吉市）

登録分野 ●まちづくり、地域活動  
●福祉、介護 ●子育て、教育、家族 ●健康、保健、医療

私は、鳥取看護大学で「地域とともに歩む」をキーワードに、「まちの保健室」事業を鳥取県で展開し、地域の元氣づくりを応援しています。とくに、健康に関することや災害の備えに関するを中心地域の中で講義しています。また、地域の健康づくりを担う人材育成にも力を入れて頑張っています。



長谷川理恵さん（倉吉市）

登録分野 ●人間関係づくり、コミュニケーション ●子育て、教育、家族

人々が健康でいきいきと暮らす社会をめざして、アドラー心理学に基づく子育てや心の健康を主なテーマとして活動しています。世界で最初に児童相談所を始めたアドラーは、精神科医として人々の健康を考える中で、子育てと子どもの教育が社会にとって重要と考えていました。そのハートフルな考え方をご一緒に学びましょう。

## よりん彩相談室

# 離婚を考えるとき知っておきたいこと ～子どものことを十分に話し合いましたか？～

「離婚」といっても、自ら決意した人、思いがけず相手から告げられ悩んだ末に選択する人など、ひとり一人経緯や状況は違います。しかし、いずれにしても離婚は大きな決断で、迷いや不安、葛藤が生じます。そして、こんな思いになることもあるようです……。

すぐに離婚したい。一緒に暮らさないなら養育費も払いたくない。



離婚したらもう関係ない。子どもには会わせない！

離婚の理由はさまざまですが、子どもがいる場合、離婚後も互いが親として子どもの健やかな成長のために協力し合う、新たな関係を築いていくことになります。離婚、その前に子ども達のことをしっかりと十分に話し合っておく必要があります。

### ▶親権

子どもの財産管理や子どもの代理人として法律行為をする義務や権利のことです。どちらの親が親権を持つのかを決めましょう。

### ▶養育費

養育費の負担について取り決めましょう。養育費は子どもの生活を守り、育てていくためのものです。どちらの親にも子どもを幸せにする責任があります。

### ▶面会のルール

面会のルールを話し合って決めましょう。子どもが片方の親と暮らすことになった時、子どもの「会いたい」「会いたくない」の気持ちを尊重した上で、もう一方の親に会うことは子どもの成長にとって大切なことです。

よりん彩相談室では、離婚など夫婦関係や家族に関する相談についても一緒に考えています。しっかりとお話を聴きしお悩みや葛藤など丁寧に整理し、自分の気持ちやペースを大切にしながら次のステップを踏み出すための応援をしています。お気軽にご利用下さい。  
(相談室詳細は裏面をご覧下さい。)

## “情報ライブラリー” おすすめBOOK

### ～新着図書のご案内～

今年入った新刊の中からそれぞれの生き方に関する本を紹介します。

#### 泥があるから、花は咲く

青山 俊董／著 幻冬舎 2017年

苦しいからこそ、進みなさい。

苦しみや悲しみを肥料として、美しい花を咲かせるために…。

美しい生き方を説き続け、日本で多くの人生を救った僧が語る人生の意味とは。

気持ちのリフレッシュにおすすめの本です。

#### 女性リーダー4.0 新時代のキャリア術

坂東眞理子／著 毎日新聞出版 2016年

女性の社会進出を応援し、その活躍に大きな期待を抱く機運が高まっている。女性の活躍をどれほど推し進めることができるか。管理職を目指して働く女性にとって今がチャンス！「品格」プラス「共感力」のあるリーダーシップとは？ベストセラー「女性の品格」の著者による実践的キャリア論。

#### 〈オトコの育児〉の社会学 家族をめぐる喜びととまどい

工藤 保則 西川 知亨 山田 容／編著  
ミネルヴァ書房 2016年

子育ての主役でなかったオトコたちに必要なのは気付きと行動である。オトコは育児をすることで父親になっていく…。

・具体的な育児の場面を多数取り上げた親しみやすい研究書。迷いながら奮闘する“オトコの育児”を社会学的に考察する。

#### 日本の女は、100年たっても面白い。

深澤 真紀／著 ベストセラーズ 2014年

青鞆、モガ、オヤジギャル、だめんず、負け犬、こじらせ女子まで、明治から平成までの女子の変遷史。ここに出てくる女性たちは魅力的だけど、みんなどこか変で、面白い女性ばかり。それぞれの生き方が図鑑的に楽しく紹介されています。「草食男子」の名付け親で女オンチな著者が語る偏愛女性図鑑。



#### 利用のご案内

- 貸出点数 — 図書10冊、ビデオ2点
- 貸出期間 — 3週間
- 団体貸出 — 100冊、8週間の貸出ができます。
- よりん彩ホームページや「鳥取県図書館横断検索」で資料がさがせます。

県立図書館や市町村立図書館に申し込みれば、取り寄せができます。

予定

# よりん彩記念日フォーラム2017

日時 6月17日（土）

会場 倉吉未来中心

アトリウム・よりん彩 他

今年は、  
6月開催です。  
ご来場  
お待ちしています。

\*各種イベント（生き生き活動する女性たちを紹介したり、楽しい催しなどを検討中です。）

\*共同参画時代の自分磨きセミナー

NHK「クローズアップ現代」のキャスターを23年間担当された国谷裕子さんをお招きし、女性が活躍する社会の実現に向けて、これまで伝えてきたこと、そして今伝えたいことについてのご講演を予定しています。

## 平成29年度よりん彩事業案内

### ◆よりん彩活動支援事業補助金

男女共同参画社会の実現に向け、鳥取県内で活動する団体や企業・若者などのグループが自ら企画し、運営する講演会や学習会、調査研究等事業に対して補助金を交付します。

#### ●公開講座／1講座 12万円（上限）

団体等の構成員以外にも広く一般に公開し、50人以上の参加者が見込める講座。

#### ●研修支援講座／1講座 2万5千円（上限）

自治会、企業、PTA等の団体が開催する研修会で参加者が20人程度の参加者が見込める講座。

#### ●若者企画講座／1講座 5万円（上限）

県内の学生や若者が企画し、広く県民に呼びかけ20人以上の参加者が見込める講座。

#### ●調査研究等事業／1事業 15万円（上限）

男女共同参画に関する調査研究の成果を県民に還元できること。



みなさんの  
企画を  
応援します。

### ◆共同参画時代の自分磨きセミナー

男女共同参画についての理解を広げるための事業を企画する団体を募集します。（3企画）

◎委託料の上限は、1企画（40万円）【よりん彩指定テーマ】  
2企画（20万円）

### ◆男女共同参画人材育成協働事業

男女共同参画を進める人材育成講座等を企画し、よりん彩と協働して実施する団体を募集します。（4企画）

◎委託料の上限は、1企画（60万円）【よりん彩指定テーマ】  
2企画（20万円）

## 鳥取県男女共同参画センター よりん彩

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5 倉吉未来中心1階

電話（代表） 0858-23-3901 フaxシミリ 0858-23-3989

HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/yorinsai/> 電子メール [yorinsai@pref.tottori.jp](mailto:yorinsai@pref.tottori.jp)

「よりん彩」は県民皆さんの施設です。お気軽に  
お立ち寄りください

#### センター相談室（倉吉：よりん彩内）

電話：0858-23-3939

火曜日～日曜日 午前9時～午後5時

土、日、祝日可（月曜日が祝日の場合は翌日が休み）

専門相談（臨床心理士による心の相談・法律相談）  
も行っています。各相談室にお問い合わせください。

#### 東部相談室

（県庁第2庁舎1F）

電話：0857-26-7887

#### 西部相談室

（米子コンベンションセンター4F）

電話：0859-33-3955

月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時  
(第3木曜日は午前9時～11時30分)

男性相談員が対応する男性一般相談は毎週土曜日です。（センター相談室）

電話：0858-23-3955 相談時間：午後1時30分～5時30分

※広報紙「よりん彩」へのご意見、ご感想などを寄せください。次号は平成29年8月発行予定です。

よりん彩ネット・電子メールの配信をご希望の方はよりん彩メールアドレスへご連絡ください。